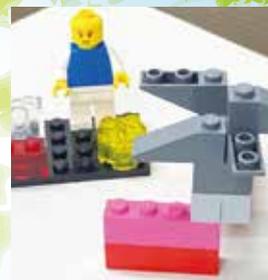


エコするけん



脱炭素社会の実現に向けて

ワークショップファシリテーター養成講座



ブロックを使った共創ワークショップ体験



愛媛県地球温暖化防止活動推進センター

愛媛県は2050年に温室効果ガス排出実質ゼロの「脱炭素社会」を目指すことを知事が表明しています。愛媛県地球温暖化防止活動推進センターではこの目標の実現に向けた新しい普及啓発として、ブロックを使った「対話&体験」型の双方向コミュニケーションの提供を始めました。

脱炭素社会の実現に向けた“賢い選択 **COOL CHOICE**な行動”につながるよう、引き続きサポートをおこなっていきます。



愛媛県地球温暖化防止キャラクター ストッピー

愛媛県イメージアップキャラクター みきゃん



ブロックを使った共創ワークショップを始めました

2050年脱炭素社会の実現に向けた気候コミュニケーションプログラムとして、“脱炭素社会の実現とは？”をテーマに、ブロックを使って楽しみながら学ぶことができる『脱炭素社会実現に向けて～ブロックを使った共創ワークショップ～』の提供を始めました。

レゴブロックを使った対話が、大人も子どもも対等に学ぶ場をつくりだすことで、参加者自らが興味を持って学ぶことを促進するのがこのワークショップの特徴です。脱炭素に向かって未来に進んでいく私たちの社会とはどんなものなのか？皆さまと一緒に考えていきます。



ワークショップファシリテーター養成講座の様子 (2021.7.17,18)

『脱炭素社会実現に向けて～ブロックを使った共創ワークショップ～』を行うことのできるファシリテーターを養成する講座を行いました。県内外合わせて17名の方が共に学び合いました。

講師 GPSSホールディングス(株) ほんま りょうこ 本間 玲子氏

【参加者の声】



Aさん

講座を受けて、脱炭素社会について教えるというのが目的だと思っていたが、興味を持ってもらうことが大切だと思えるようになった。



Bさん

手を動かしながら考えるともの見方が多様になると感じた。



Cさん

自分が表現したいことが広がっていくのを感じるようになった。



ワークショップファシリテーター養成講座を受講して並びに 自社でのワークショップの様子について

佐川印刷(株) 加納 飛鳥氏

レゴを使って、脱炭素について考えるなんて半信半疑でしたが、作る時にも語る時にも頭を使って言葉をひねり出しました。脱炭素がだんだん身近なものに思えてきたのに驚きました。初対面の人ともじっくりと話すことができたので、職場の人や子どもたちと一緒にやってみようと思いました。



【参加者の声】

脱炭素社会についてレゴを使用して学ぶ講座に参加しました。SDGsと聞くと堅苦しく考えてしまいましたが、手を使って自分の考えを話し合っただけでより理解しやすかったです。

身の回りのほとんどのものが炭素を使って作られていることに改めて気づきました。「10年後・20年後の社会はどうなっているのか」「どんな社会であってほしいのか」について、炭素というキーワードを通して考える良いきっかけになりました。



受講者募集中心!!

「脱炭素社会実現に向けて～ブロックを使った共創ワークショップ～」

【このプログラムで学べること・できること】

- ☆脱炭素のエッセンスを学べます。
- ☆ブロックを使うことで肩書や年齢等問わず、対等に学ぶ場がつけられます。
- ☆お互いの作品や対話を通して、受講者同士の関係性構築を容易にします。

GOOD



【おすすめ】

- 総合的な探求の時間や環境教育の教材として
- エネルギーの勉強会や企業研修として
- 地域活動等でのイベントや勉強会として



SDGs 知ってますか？



SDGs7

エネルギーをみんなに そしてクリーンに

この目標は、世界中のすべての人が安全かつ安心して使えるクリーンエネルギーを普及させ、地球上のあらゆるエネルギー問題を解決することを目指しています。世界人口のおよそ10分の1にあたる7億8900万人が電力を利用できていません。電気を使えないことにより、多くの人々が学習や事業の機会を失っています。また、日本では化石燃料を用いた発電が大多数を占めています。化石燃料を燃焼させると、大量の二酸化炭素が発生するため、地球温暖化を加速させる要因となっています。



SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標



マイ・SDGs実践促進事業

昨年度から愛媛県より受託している「マイ・SDGs実践促進事業」を昨年度に引き続き行っています。今年度は愛媛県内の中学生を対象として『脱炭素』をテーマに、気候変動を単にSDGs目標13の達成のために行うこととして事象や問題を単純化して捉えるのではなく、事象の複雑性を理解しながら構造的でグローバルな出来事として、受講者自身が受け身ではなく自ら進んで捉えられるようになることを目標としたワークショップを行っています。

このワークショップは「GPSSサステナビリスト (クリアブルー) 認定講座」の全過程を修了した愛媛県内在住のサステナビリストがファシリテーターを担当。約4ヶ月間、サステナブルとは？サステナビリストとしての生き方とは？を考え続け、学んできました。この経験を次世代につなげていきたいと思っています。





推進員定例会 (オンライン)

今年度からオンラインによる定例会(月1回)を実施中。対話を中心に交流したり、ゲストスピーカーをお招きしたりとオンラインでの交流から推進員活動の今後について考えたよ。

#オンライン交流 #定例会



中国四国ブロック合同推進員研修 (オンライン)

2020年中止となった合同研修会を今年はオンラインで開催。講師の歌川先生から地域の二酸化炭素排出量や脱炭素ポテンシャルについて学んだよ。

#二酸化炭素排出量 #脱炭素



(株)ダイキアックス見学



学生推進員がバイオディーゼル工場と浄化槽工場の見学に行ったよ。廃食用油をリサイクルして生まれる環境に優しいディーゼル代替燃料「D・Oil」でECCCAの車は走っているよ。

#バイオディーゼル #工場見学 #D・Oil



第5回学生地球温暖化防止活動推進員・四国エコサミット (オンライン)

テーマ：地域循環共生圏と持続可能



昨年に引き続き、オンラインで開催となった四国エコサミット。四国の学生推進員が集まって、馬路村のお話を聞いたり、レゴブロックを使って2030年の未来予想図を作ったりしたよ。

#地球温暖化 #四国エコサミット



えっかキッチン

野菜料理家のやくにこさんを取材。



学生推進員が食品ロスほぼなし、地産地消で旬の食材、大学生でも簡単に作れて栄養もとれるお料理を体験。コラムとして掲載したり、大学生協にポスターとして展示したりしたよ。

#食品ロス #地産地消



愛媛の3Rフェア



エミフルMASAKIで行われた「愛媛の3Rフェア」にて、ポスター展示やECCCA WEB MAGAZINE動画上映を行ったよ。えこーるの名前はこの会場で投票を行って決定したんだ。

#3R #えこーる



意見交換会



環境行政について学生推進員と市が意見交換をしたよ。環境問題や普及啓発についても話し合ったよ。

#環境問題 #普及啓発



(株)ゆうぼく見学



意見交換会をきっかけに、学生推進員が(株)ゆうぼくの牧場とお店の見学に行ったよ。畜産と環境、一頭の命と価値、サステナブルについて考えたよ。

#ゆうぼく #畜産 #畜産と環境 #サステナブル



農業見学



学生推進員が「地球環境×農業」をテーマに、中村農園、はがた農園、ブルーベリーファーム加地、ロハス企業組合といった愛媛の農家を見学したよ。

#農業 #農園 #ロハス



まつやま環境フェア



学生推進員がまつさんと一緒に海ゴミやプラスチックの問題をテーマにステージで発表したよ。参加者はクイズやタンブラー作りを楽しんだよ。

#環境フェア #海ゴミ



はじめまして!
えっか広報担当のえこーるだよ!
地球や愛媛の環境について
わかりやすく発信しているよ!
環境問題に興味がある人、
地球が大好きな人、
みんなフォローして
#やってみてもえっか
で教えてね!



Instagram
はじめてます!



Follow me!

ECCCA.G

https://www.instagram.com/eccca_g/

—お肉と地球環境—

お肉が地球温暖化!?



牛肉を使ったお料理は私たちにとても身近です。

しかし、牛のげっぷや排泄物にはメタンガスが含まれており、メタンガスは二酸化炭素よりも温室効果が高いといわれています。また、地球上には約6,500種類の哺乳類が存在していますが、このうち、家畜は60%を占めています。人間が占める割合(36%)と合わせると96%を占めているので、残りの野生動物はわずか4%になります。

生きていればストレスがつきもの!

牛も私たちと同じ生きもの。牛はストレスを受けやすく、心身にその影響が出てしまいます。その影響の一つとして、消化不良により「げっぷ」を排出します。牛は元々決闘種族なので同じ場所で複数の牛を飼養すると権力闘争が起きます。闘争期間はストレスがかかり、免疫が衰えてしまうことがあります。肉用種だけでも全国で約180万頭(令和2年現在)の牛が飼養されていますが、大型飼養の産業動物におけるストレスの被害は課題となっています。



命に向き合うとは?

～企業の取り組み、世界の動向～

オーストラリアの国立研究機関とジェームズクック大学が発表した論文では「カギケノリ」という赤い海藻を牛の飼料に混ぜることでげっぷによるメタンガスの放出を85%削減できると発表しました。また、自社牧場で牛を育て、食肉として販売、レストラン経営等をしている企業「株式会社ゆうぼく(愛媛県西予市)」では、牛たちの命も私たち人間と同じ大切な命という考えのもと、一頭の付加価値を高めることや牛がストレスフリーに育つことができるような環境づくりに取り組んでいます。牛のげっぷが温暖化に影響している、という事実だけに目を向けるのではなく、これを引き起こしている原因は何であるのかに注目することが今後の環境問題の解決に重要なのではないのでしょうか。



学生推進員 八木新葉



ここがすごい! 環境モデル都市松山!

こんにちは、推進員の中村です。今回は、私が住んでいる松山市について「ここがすごい!」とと思っているところをご紹介します。

(1) ごみが少ない町のトップランナー

環境省の発表によると、松山市は1位を過去10回獲得、令和元年度(最新)は2位。

ごみのリデュースランキング

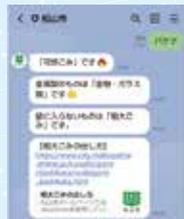
1位	東京都	八王子市	770.1g/人日
2位	愛媛県	松山市	773.1g/人日
3位	神奈川県	川崎市	804.2g/人日

(参考:一般廃棄物の排出及び処理状況等(令和元年度))



数年前にいついかなるはずだった市の最終処分場。ごみ減量の効果でまだ余裕があります

松山市のごみ分別は8種11分別(旧中島町は10種11分別)。ルール違反ごみは、回収しない理由を書いたシールを貼られ、置いていかれます(回収されません)。また、ごみ集積場所の管理はそれぞれの町内会等が行っています。松山市のごみ分別は厳しいともいわれますが、市民の努力でごみ減量が進んでいます。そうそう、今はLINEでごみ分別を検索できるんですよ。松山市公式とぜひお友達になってください。



(2) 環境首都「フライブルク市」と交流

ドイツフライブルク市は、世界でも有名なエコシティです。特にトラム(市内電車)を活用した交通政策や省エネ住宅団地「ヴォーバン地区」などの取り組みは世界のお手本。フライブルクの旧市街地は車乗り入れ不可なので、トラムか歩きか自転車移動となります。ちなみに私がフライブルク市へ一人旅した際、「松山市から来た」というと皆さん喜んでくれました!町人もとても優しく感動しました。また行きたいです。



ヴォーバン地区の住宅 太陽の光を多く取り入れる大窓、屋根にはソーラーパネル

(3) まつやまRe・再来館 (りさいくるかん) 愛称: りっくる

市民が運営する環境教育の拠点施設。まだ使えそうな粗大ごみを修理して格安で販売したり、「楽々リサイクル講座」をほぼ毎日開催したりしています。隣に公園があるので自然観察会が開かれることも(まつやま自然ネットワーク主催)。そして、2022年3月は館内展示を大リニューアル予定!ぜひ見に来てくださいね。



ここで、皆さんお気づきかもしれませんが…実は、私は松山市役所で環境部の職員をしています。十数年前に、松山市の環境施策にほれ込み「私は環境政策に熱心な松山で働きたい!」とそのまま就職したのです。もし、この記事を読んで、関心を持たれた方がいらっしゃいましたら、ぜひ私にお声がけください。ご案内いたします!

推進員 中村 優理子

サステナブルな想いと情報を未来へ

WEB MAGAZINE

～ECCCAの環境ウェブマガジン～

好評により
今年も
配信中!



<https://web-magazine.eccca.or.jp/>

編集後記

「脱炭素」「サステナブル」をテーマに活動を行った2021年。えっか通信「エコするけん」もバナナペーパーにチェンジです!バナナは、1本の茎から1度しか実が採れないため収穫時には茎も切ってしまうのですが、切った茎は1年以内に再生し、また新しいバナナが育ちます。ザンビアの有機バナナ畑で通常捨てられてしまう茎を再利用し、その茎の繊維に、日本の和紙工場等でFSC®認証パルプを加えて作られたものを使用しました。日本初のフェアトレード認定紙として、途上国の貧困解決だけでなく、日本の伝統技術の継承や雇用創出にもつながる可能性があります。

(愛媛県地球温暖化防止活動推進センター 山中)

センター使用・貸出物のご案内

ECCCAにはどなたでも気軽に立ち寄ってご利用いただくスペースがあります。地球温暖化防止等に関するご相談、パネル・図書・DVD等の貸し出しも行っております。

開館日:月～金曜日 午前9時～午後5時まで

休館日:毎週土・日曜日、祝日、年末年始

問い合わせ TEL:089-925-2661 E-mail:eccca@e-jyoukasou.com

愛媛県地球温暖化防止活動推進センター

愛媛県センターの活動情報は、ホームページやフェイスブック・ウェブマガジンにて情報発信中!

ホームページ

<https://eccca.or.jp/>

Facebook

<https://www.facebook.com/eccca.or.jp/>



ECCCA 検索



この印刷製品は、環境に配慮した材料と工場で製造されています。

